



3月28日

『変革2027』の実現に向けた組織の再編について』に関する

東地申第 32 号 解明申し入れ(信号通信関係)について団体交渉を行う！ (その1)

## 提案から1年、施策実施まであと3ヶ月。 会社は労働条件の根幹である業務量について回答を示せず！ 2項の途中で交渉が止まる！！

地本は3月28日に『変革2027』の実現に向けた組織の再編について』に関する解明申し入れ(信号通信関係)について団体交渉を行いました。申し入れの内容について会社は具体的な回答を示せず、議論が進展しなかったためその場での交渉を打ち切り、再度団体交渉を行うように求めました。

### <主なやり取り>

組合	会社
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆今回の提案は労働条件の変更であるのか。</li> <li>◆協約に定める労働条件に関する事項に含まれると認識されるという事で良いか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆就労条件が変わる、組織が変わるというものであるが、労働条件の変更ということについて認識が一致しているか分からないので回答しかねる。</li> <li>◆労働条件の変更に該当する項目もあるかと思う。</li> </ul>

### 1. 施策の目的と展望を具体的に明らかにすること。

回答:時代や環境の変化に柔軟に対応し、変革をスピードアップさせるために仕事と組織を見直すものであり、働きがいの向上や経営体質の強化を実現していく。

組合	会社
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆具体的な連携等についての将来展望は何か。</li> <li>◆働きがいの向上、経営体質の強化とは具体的に何か。</li> <li>◆信号通信設備技術センターの発足が働きがいの向上と経営体質の強化にどのように繋がるのか。</li> <li>◆現状の3つの技術センターの課題は何か。</li> <li>◆技術センター発足の目的は達成されたということか。</li> <li>◆連携による変革のスピードアップとは何か。</li> <li>◆各セクションについてさらに連携させることはあるのか。</li> <li>◆連携を兼務ではまかなえないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆社員向け説明会等で示している通り、コロナ禍等の環境や時代の変化に対応していけるような職場をつくっていくこと。</li> <li>◆社会全体で人口などが縮小傾向にあるなかにおいて、社員のやる気向上で生産性を高めていく。収入減のなかでこれまでのレベルの体質を低コストで実現することである。</li> <li>◆「電気部門の変革 2022」で示している働き方を先鋭化していく。信号と通信の連携で判断業務に注力できるようになる。社員の判断力が向上していく。</li> <li>◆基本的には目論見通りに来ている。クリティカルな課題はない。</li> <li>◆概ね当初の目論見通りではある。図面の諸元 100%という点においては達成できていない。</li> <li>◆新しい技術の拡大、別分野の技術者が垣根を越えることで知識や技術が向上することである。</li> <li>◆在来線の信号は多種多様であるためそれはない。</li> <li>◆将来的にはさらなる技術連携が必要になってくるということである。</li> </ul>



3月28日

『「変革2027」の実現に向けた組織の再編について』に関する

東地申第32号

説明申し入れ(信号通信関係)について団体交渉を行う！ (その2)

2. 東京信号通信設備技術センター信号セクション安全グループにおける「年間を通した平均的な業務量の基準」および「年間を通した業務の繁閑」を具体的に示すこと。

回答: 現業機関での柔軟な働き方推進の趣旨を踏まえ、現業機関における業務量については、年間を通した平均的な業務量の基準として、「変形等」「交代」「乗務員」の1日当りの出面数(作業ダイヤ数)を「管理・一般」に分けて示すこととする。なお、上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや、一般社員が管理者の業務を行う場合がある。また、業務の繁閑等に応じて、作業ダイヤを柔軟に設定(出面数や勤務種別の変更)することとする。

組合	会社
<ul style="list-style-type: none"><li>◆どのような基準で出されているのか。</li><li>◆業務量で示すように変更された。基準は何か。</li><li>◆作業ダイヤ数はいくつあるのか。</li><li>◆作業ダイヤに置き換えるという事は業務があると認識している。業務に基づく業務量があり、業務量によって業務量算出がされ、一日当たりの作業ダイヤ数として年間の平均として示して頂いていると受け止めている。これらの総数に至るには各職場における各セクションの各業務があってこれらの総数の算出になっていると思っている。各グループの業務量の数字を聞きたいわけではない。<u>年間を通した平均的な業務量の基準は置き換えると業務内容だと思っているので示されたい。</u>それらが最終的には業務量総数につながる根拠だと思っている。</li><li>◆安全グループの具体的な業務内容は何か。</li><li>◆業務の繁閑は具体的に何か。</li><li>◆私たちが聞きたいのは年間を通して業務の繁閑は何かを聞いている。期間として張る業務、日としてあるならば業務の内容のどういったところが繁忙期、こういったところが少ないので閑散期という考え方である。車両センターの年間入場計画数、乗務員の様に運転・車掌と分けて行路数が示されていて業務量提示がされれば理解納得できるが、<u>年間の繁閑のところは明確にして頂かないと、この数字の労働条件の根幹に関わるところだと受け止めている。</u>提案の在り方は問うていない。会社の判断でやってもらえればよい。細目は団体交渉で応えていただければよい。</li><li>◆発足していない職場なので現行想定している業務があって考え方をもちださと思うので示して頂きたい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>◆鉄道の運行に必要な恒常的な業務を示している。</li><li>◆箇所総体で示している。グループ毎に固定的にはならない。</li><li>◆必ずしも毎日一緒ではないが、恒常的に行う業務を作業ダイヤに置き換える数だと示している。</li><li>◆各職場に様々な仕事がある。呼称や呼び名、グループの区分など、職場で異なるが基本的に言っている事はそうだと思っている。貴側が求めているのは内訳で言えば仕事の中身は何かという質問で、答えれば宜しいか。</li><li>◆安全パトロール、事故防止会議、規定の整備、内規の管理などである。</li><li>◆新入社員が入ってくる時期は繁忙期となる。その他日によって業務が輻輳することもあるが明確にはない。</li><li>◆電力、信号通信設備技術センターは仕事の性質が違うと思っている。工場の業務や乗務員の業務や駅の作業ダイヤのような仕事というよりは、一人ひとりの判断業務、一人ひとりの仕事の進め方とか裁量がかなりある職場であり、一概に比較できない。この職場に何人配置することより、仕事をできる人がいるかが大事になる。同じ2人いるからといって必ずピタピタ終業時刻が決まっているわけではない。場合によっては超勤をしてもらうし、場合によっては早く終って別の業務に従事してもらう。</li></ul>

どのようなことを基準に「業務量」と「業務の繁閑」を判断し人員を配置するのか？

**会社から具体的な回答は示されなかった！！**

また、回答内容に全く関係のない「乗務員」という記述があるなど**不誠実な内容の回答である！**

議論は1項までが終了。2項から33項については再度交渉を行います！



4月18日 東地申第32号

## 「『変革2027』の実現に向けた組織の再編について」 に関する説明申し入れ(信号通信関係)について 2回目の団体交渉を行う!

前回の交渉(3月28日開催)では、会社側から業務内容やその繁忙期・閑散期など基本的な事項について示せないことについて提案した責任からも容認できないことを主張し第2項途中で交渉中断しました。交渉再開にあたり、会社側から「業務量の認識、回答ができることは回答したい。交渉を始めさせていただきたい」とのことで、東地申第32号「『変革2027』の実現に向けた組織の再編について」に関する説明申し入れ(信号通信関係)交渉を前回中断した2項の途中から再開しました!

前回中断した2項

東京信号通信設備技術センター信号セクション安全グループにおける「年間を通じた平均的な業務量の基準」および「年間を通じた業務の繁閑」を具体的に示すこと

会  
社  
回  
答

### ●業務内容について

- ・安全パトロールの計画・実施
- ・各種安全に関わる教育
- ・災害関係備品の管理
- ・安全関係内規、マニュアル作成
- ・事故防止会議
- ・事故事象の周知
- ・規程の整備
- ・信号技術者認定に関わる事務
- ・保安確認書の履行確認
- ・安全装備、備品の管理

### ●今提案内容における業務量、業務内容、繁閑の基準について

第1～2四半期に各種教育が重なり繁忙期だが閑散期はない。技術センターの業務は月・日単位で業務の繁閑がある。個人業務の進捗状況やグループ作業であることから一律に示すことは難しい。個人の裁量やスキルで業務を行うことが多く一定程度会社として判断した部分で線引きし1日当たりの業務量を算出している。

### ●年間を通じた平均的な業務量としての基準について

2021年度の業務をベースに、23年6月の再編のところで統廃合されることを加味した内容で提案している。

### ●21年度の業務をベースとする会社回答に 対する細目の夜間作業のデータについて

- ・回答の持ち合わせはない
- ・全体の夜間作業量はあるが、細目ではない

業務内容に関わる夜間作業のことであり、実質的に回答が示されない!その他の項目も同様の議論となり、詳しい労働条件が明らかにならないため、

**再度2項途中で中断!**

**形式的に団体交渉を行い、回答を持ち合わせていない会社に対し  
不誠実団体交渉であることを突き付ける!**